

あしがら 農の会

通信 3月号

第131号

2013年 3月5日発行

発行

NPO 法人 あしがら農の会

ホームページ

<http://nounokai.com/>

代表 諏訪間直子 080-1047-5304(携帯)

編集 石井 智子 0465-32-1467(TEL/FAX)

bombalurina@savanna.dfi.ne.jp (石井)

有機の仲間たち 其の十五

「小田原生(いき)ごみクラブ」(以下、いきごみクラブと略記)は、小田原市の環境政策課が進めている「生(いき)ごみ小田原プロジェクト」(生ごみ堆肥化の取組)を支える市民活動グループです。様々な堆肥化の方法の中でも気軽に取り組める「段ボールコンポスト」を基本に、より多くの人に取り組めるよう力を注いでいます。

小田原市では、平成22年度から「生(いき)ごみ小田原プロジェクト」への参加を毎年1,000世帯募集し、段ボールコンポストのセットを無料配布しています。最終的には、小田原市の全世帯の10%、約8,000世帯の参加を目標とし、現在では約2,600世帯が登録しています。

いきごみクラブのメンバーは、段ボールコンポストに初めて取り組む市民の方が困ったときに何かアドバイスをするボランティアとして集まった市民です。その後、単に技術的なアドバイスだけでなく、段ボールコンポストをやっていく上での環境を提供するという意味でサポーターと称するようになり、さらにその中で積極的に活動している人たちでいきごみクラブを結成しました。

【1】いきごみサロンの開催(毎月)

講話、体験報告、グループ討議と発表、質疑応答などを織り交せて実施。講話には農の会から松本さん、田中農園の田中さんに講師になってもらったことがあります。年1回は外部から講師をお願いしています。22年度は明治大学の藤原俊六郎先生、23年度は同じく明治大学の佐倉朗夫先生、24年度は歌手の白井貴子さんをお招きしました。また、毎年8月のサロンで配った野菜の苗を参加者に育ててもらい、11月のサロンで品評会を行っています。優秀者には市長賞、会長賞の楯と副賞が贈られます。

【2】いきごみ通信の発行(毎月)と配布

「紙版いきごみサロン」とも言えるものです。サロンに来られないプロジェクト参加者への報告・情報連絡として、また、まだ参加されていない市民の方へのPRの役割を果たしています。通便局、スーパーや信用金庫などにも置いてありますので、見かけたらぜひ手に取ってみてください。

地場旬自給

あしがら農の会はあしがら地域に様々な循環を作りたいとの思いから、地場、旬、自給を掲げて、1993年に設立されました。(2003年にNPO法人化)
地域の中の休耕田を借りて自給のための米作りから始まった会は、現在以下のような活動を行っています。

農産物の宅配: 会に賛同する野菜の生産者と、地域で自給の為の野菜の作り手が集まって、無農薬・無化学肥料栽培の野菜宅配を行っています。(その他、米、お茶、果実、卵、鶏肉、豚肉などもあります)

田んぼの会: 現在約100家族以上が、あしがら平野の13カ所で自給用の稲を育てています。

お茶の会: 山に戻ってしまうお茶畑を、市民で手入れできないかと始まりました。5月には参加者約100名が、各自1年分のお茶を摘み取ります。

大豆・味噌の会: 大豆は7月に苗作りから始まり、11月に収穫します。その大豆と、各自が田んぼの会で作っているお米で、1月には麴づくりから味噌作りを行っています。

小麦の会: 月1キロの小麦の自給を目指します。

その他、四季折々の行事を行っています。関心のある方はどなたでも参加できます。

小田原生(いき)ごみクラブ さん

【3】いきごみクラブの地域連絡所による基材配布

段ボールコンポストの基材交換時に合わせて、年に3回基材を地域連絡所(クラブのメンバーが担当している配布拠点)を通して配布しています。

【4】プロジェクト新規登録者への段ボールコンポスト説明会開催
年度初めにプロジェクトに参加された方々を対象に、新規セットの配布と説明会を行います。

【5】イベント・店頭でのデモおよび新規登録者の募集活動
今後は主に朝ドラファーム店頭で定期的に活動します。

【6】地域サロンの開催(年3回)

昨年の9月ごろから始めました。全体のサロンではどうしても参加者が限られるので、各地域の公共施設で行うことにしました。主催者は各地域のいきごみクラブのメンバーです。基材の配布が主な目的ですが、地域ごとに独自の企画で行っており、かなり好評のようです。今後の進展に期待が持てます。

【7】その他

★プロジェクト参加者への個別サポート(参加者からの要請でサポーターが電話で対応したり、お宅を訪問しています。当初は多かったが最近はありません。)、★インターネットの掲示板運営(質疑応答、サロンの開催案内等、やや低調)、★矢作小学校の給食調理の野菜くずの堆肥化作業(昨年7月から始めました。出来た堆肥は学校菜園で使っています。)、★代替基材(基材の代わりになる地元産の材料。竹、おが屑、落ち葉など)の開発実験等を行っています。

(トピックス:小田原市の段ボールコンポストの取り組みが NHK 高校講座「科学と人間生活」(24年度からの新しい科目)で取り上げられ、7月に放映されました。)

小田原生(いき)ごみクラブ 会長 笠原久弘

【問合せ】事務局:小田原市環境政策課 ☎0465(33)1471

いきごみプロジェクトや段ボールコンポストに興味のある方は、農の会通信編集室石井までご連絡ください。!(^^)! まってま〜す